



**2023 SUPER GT Rd.5**  
2023.08.26-27 SUZUKA CIRCUIT

## はじめに

ついに2位表彰台を獲得することができた富士大会から2週間のインターバルを挟み、第5戦鈴鹿大会を迎えました。前戦の流れをそのままに、今大会も表彰台を獲得するという気持ちをチーム全体で持ちサーキットに入りました。ダンロップタイヤの方々も、ドライ路面で高いパフォーマンスを発揮するために開発を進めてくれており、夏場の鈴鹿とは過去のレースを見ても相性がいいので、期待は高かったです。

## 公式練習

いつも通り伊沢選手から走り出し、比較的早い段階で私にドライバー交代を行いました。これまで鈴鹿で行われてきたテストではトップタイムを記録する場面もあり、公式練習からいい流れを掴めるかと思いましたが、グリップ不足に悩まされ、予選に向けては決して自信の持てる内容とはなりませんでした。気温の上昇やセットアップの変更等が上手く噛み合っておらず、予選に向けて多方面で修正を迫られました。ドライビングの面に関しては、伊沢選手とのデータ比較やオンボード映像をもとに予選に向けて少しでも速く走るための準備を行いました。

## 予選(Q1担当:4位)

思いの外苦しい内容となった公式練習ですが、予選に向けてチームができる限りのセットアップを行ってくれたので、それを信じてアタックラップに突入しました。公式練習からは考えられないほどマシンが煮詰まっていて、気持ちよくアタックができ4番手でQ1を突破しました。Q1を通過することがギリギリだと考えていたので、この結果にはかなり驚きましたし、何よりもチームの合わせ込みが素晴らしいかったです。自分自身もかなり良い1LAPにまとめることができたのでよかったです。

Q2は伊沢選手が担当し4位という結果になり、450kmの決勝レースをセカンドローからスタートできることになりました。色々な部分が噛み合った素晴らしい予選セッションだったと感じています。

## 決勝(8位)

伊沢選手がスタートドライバーを務め、450kmのレースがスタートしました。約30周でドライバーチェンジを行い、5番手でバトンを受け継ぎました。そこからはかなり良いペースで周回でき、アンダーカットされた車を何台もパスすることができました。前戦の鈴鹿ではラップタイムの落ちが激しく、苦しいレースだったのでここに関してかなりの進歩を感じることができよかったです。オーバーテイクだけでなく、ブリヂストン勢のマシンにスティントを通してプレッシャーをかけ続けられたことは次戦以降に向けて大きなモチベーションになりました。FCYやピットのタイミングで結果的に8位ゴールと、ポジション的には悔しい結果になりましたが、ドライでは間違いなくここまでで一番のレースができたのでよかったです。

## おわりに

今大会はチーム、タイヤ、ドライバーの全てが力を発揮できたレースだと感じています。練習から予選に向けたチームのセット変更は見事でしたし、タイヤに関しては前回の鈴鹿とは比べられないほどのパフォーマンスでした。僕自身も伊沢選手からたくさん学び、より繊細にマシンをコントロールできるようになっていると感じており、ギリギリの状態で何台もオーバーテイクができたことは自信につながりました。

次戦の菅生大会では、今回得られた結果をもとにさらに上位でゴールできるように全力を尽くしたいと思っております。引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

**HONDA****Nakajima**  
*Racing*

